

《薬局サーベイランスコメント》

『2020年第2週のインフルエンザの推定患者数は約78万人と第1週よりも大きく増加。今後さらに患者数は増加していくと予想される』

薬 局 サ ー ベ イ ラ ン ス
(<http://prescription.orca.med.or.jp/syndromic/kanijyasukei/index.html>)によると、今シーズン(2019/2020年シーズン)の2020年第2週(1月6日~1月12日)のインフルエンザの1週間当たりの推定患者数は約784,000となり、前週の値(第1週;約392,000)よりも大きく増加しました(図1)。第3週以降、インフルエンザの患者数は更に増加していく可能性が高いと思われます。

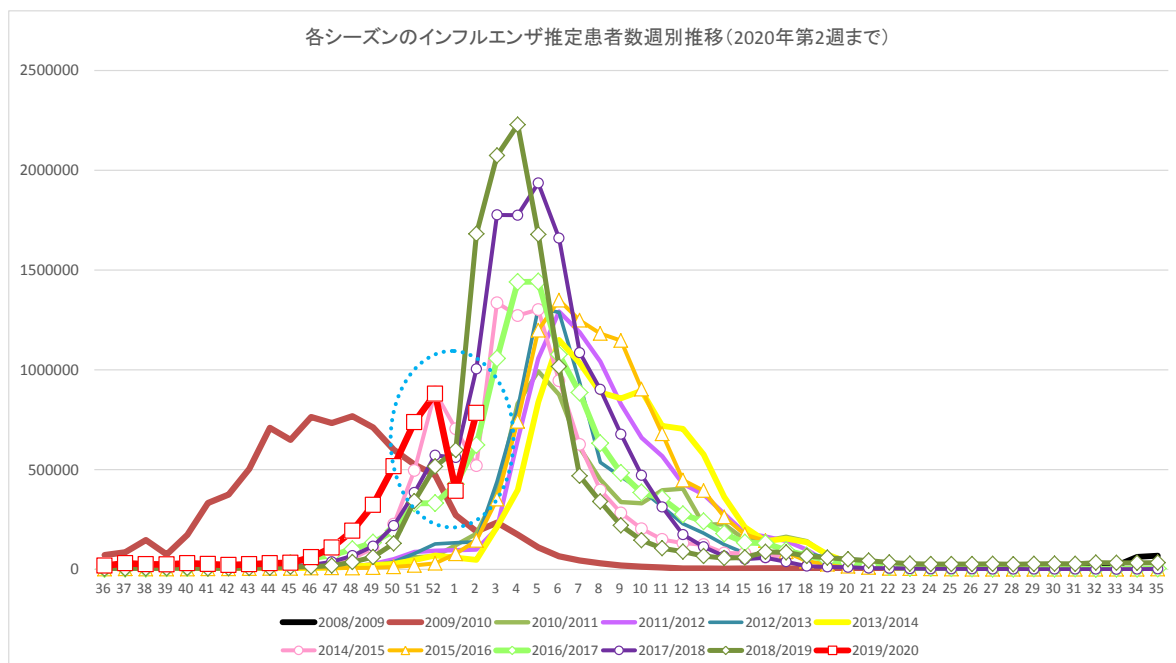


図1. 過去11シーズンと今シーズン(2019/2020年シーズン)の2019年第36週~2020年第2週までのインフルエンザ推定患者数の週別推移

2019年第36週から2020年第1週までの累積の推定患者数は約4,261,000であり、2019年10月1日現在の人口統計を元にした累積罹患率は3.38%でした。年齢群別での累積罹患率は5~9歳(14.99%)、10~14歳(10.22%)、0~4歳(8.29%)、40~49歳(3.73%)、30~39歳(3.67%)、15~19歳(3.55%)、20~29歳(2.54%)、50~59歳(2.36%)の順となっています(図2)。

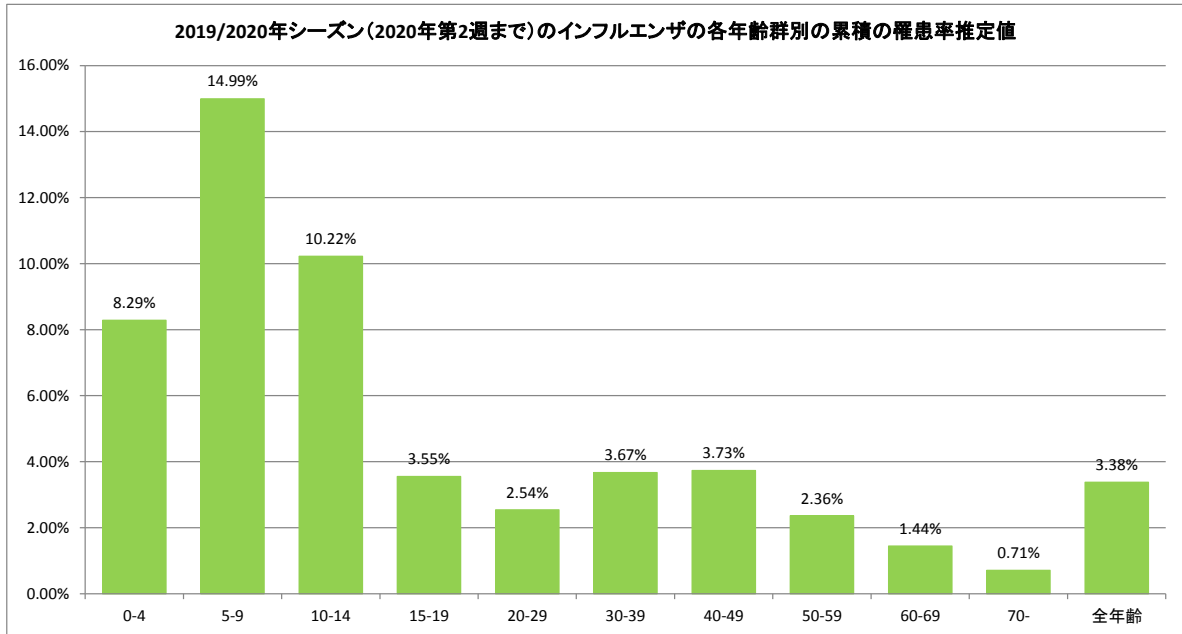


図 2. 各年齢群のインフルエンザ累積罹患率の推定値 (2019 年第 36~2020 年第 2 週、累積推定患者数=約 4,261,000)

国立感染症研究所感染症疫学センターの病原微生物情報 (<https://www.niid.go.jp/niid/ja/iasr.html>) によると、今シーズンこれまでのインフルエンザ患者由来検体から検出されたインフルエンザウイルス (1,574 検体解析) は、A/H1pdm が 93.8%と最多であり、次いで A/H3 (A 香港) 亜型 3.7%、B 型 2.5%の順となっています。

2020 年第 2 週のインフルエンザの推定患者数は、第 1 週よりも大きく増加しました。今後 1 月下旬から 2 月にかけての本格的な流行時期に向かって、インフルエンザの患者数は今後更に増加していくと予想されます。今後ともインフルエンザの患者発生状況には注意が必要です。

2020 年 1 月 15 日
 済生会中津病院感染管理室
 安井 良則